

「第3回とやま未来創造県民会議」での主な意見

【結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備】

- ・非正規職員の増加が、結婚しない人が増えていることの一因と考えられるので、産業の振興と雇用の創出をしっかりと進めることが重要。
- ・人口の減少は県全体の問題であることから、「水と緑の森づくり税」のように、県民全体で子育て等を支える制度を考えることはできないか。
- ・若い男性と女性が出会う機会づくりをもっと進めてほしい。

【雇用の創出、産業の振興、県外からの移住促進】

- ・戦略には中小企業の生産性向上、新商品開発への支援施策がたくさん盛り込まれているが、事業者にしっかりと認知されていないのではないかと。制度の利用者に偏りが出ないように、しっかりと周知する必要がある。
- ・富山大学の「KAGRAプロジェクト（※）」など、富山ではこんなに魅力的な学問ができるのだということをもっとPRすれば、県内の学生の定着や県外からの学生の増加にもつながる。

※「大型低温重力波望遠鏡・KAGRA」…東京大学宇宙線研究所、高エネルギー加速器研究機構、自然科学研究機構国立天文台の3機関が共同ホスト機関として行っている研究プロジェクトに、富山大学も参加し、共同研究を行っているもの。

- ・定住人口と交流人口を車の両輪として地域の活性化につなげてほしい。首都圏や関西圏には、多くのアクティブシニアがいる。こうした人たちを誘致してはどうか。

【女性・高齢者など多様な人材確保と労働生産性の向上】

- ・女性が出産や子育てで職場を離れることになった場合にも、しっかりとキャリアを保障してあげる仕組みづくりが必要。
- ・短時間労働や在宅ワーク、子供連れ出勤などを進め、富山県は働く女性をしっかりと応援するという姿勢を示すことが重要。富山らしい働き方というものを考えてもらいたい。
- ・高齢者が豊かな経験を活かして活躍できる社会づくりを進めてほしい。

【地域の基盤強化・魅力向上】

- ・ 地域公共交通を利用して生活する機運を全県的に盛り上げていくことが必要ではないか。
- ・ 人によって幸福の捉え方は違うので、多様な芸術文化の形態を考えなければならない。
- ・ 地域課題解決ビジネス（ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス）が全国的に広がりを見せている。行政、産業界、金融機関などが一体となって応援する基盤づくりを戦略の中に盛り込んでもらいたい。

【その他】

- ・ 老若男女だれもが元気になれるよう、がんばっている人を顕彰する制度をつくってはどうか。
- ・ 県民に総合戦略を理解してもらい、新たなアイデアや取組みを広げていくためにも、しっかりとPRしていくことが重要。
- ・ 県の総合戦略は幅広い分野にまたがっているが、重点的に取り組むものを決めることも必要ではないか。
- ・ 今後、PDCAサイクルを確立し、数値目標やKPIについて、どこまで達成できたか、なぜできなかったかということをしかりと検証していくことが重要。
- ・ 若い人の参加を求める項目がないのが残念。産官学金労言を含め誰が何に取り組むのかというアクションプランが必要ではないか。